

【研究主題】

自ら進んで考え、判断して、よりよく生きようとする児童の育成
—「特別の教科 道徳」における主体的・対話的で深い学びを通して—

第5学年 道徳科学習指導案

日時 平成30年11月21日（水）第5校時

第5学年1組 39名

授業者 落合 謙次

- 1 主題名 『相手の立場に立つ』（B 親切、思いやり）
- 2 ねらい 登場人物の心情を自分とのかかわりで考えることを通して、相手の立場を考えて思いやりのある行動をとろうとする心情を育てる。
- 3 教材名 「最後のおくり物」（出典：文部科学省 『私たちの道徳』小学校五・六年）

4 指導観

（1）価値観

相手に対して思いやりの心を持ち、親切にすることは、よりよい人間関係を築く上で欠かせないことである。「思いやり」とは、相手の気持ちや立場を考え、相手を受け入れたり、相手に共感したりすることである。そして、思いやりをもって相手が必要としていることを行う行為が「親切」である。社会生活では、人とのかかわりなしでは成り立たない。相手の気持ちや立場を考え、行動していくことで、多様な人々とよりよい人間関係を築くことができる。人と人とのかかわりの中で望ましい生き方をしていくために、自分にとっての損得を超えて、相手の立場に立ち、相手を思いやることの大切さを感じさせたい。

（2）児童観

【道徳アンケートから】

質問 周りの人に思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしている。

（男子24名 女子15名 計39名で実施）

質問	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
	10%	67%	23%	0%

学級全体の約8割の児童が「とてもあてはまる」もしくは「あてはまる」と回答している。児童の多くは普段の生活の中において「思いやりや親切」ということを意識している様子である。その反面、2割強の児童は「あまりあてはまらない」と回答している。友達や家族などのかかわりの中で自分の言動について課題を感じている様子も見られる。

日頃の児童の様子を見ていると、一人ひとりには明るさや優しさ、思いやりの気持ちを感じる言

動は見られる。しかし、グループや学級といった集団になると自分自身の時間的、精神的な余裕、相手との関係性、置かれた状況などによって影響を受け、自己中心的な言動をとっている場面を見かける。上級生や同学年の友達に対しては、相手の立場を考えて行動するという意識や態度は十分に育っていないと感じる。その反面、関台フェスティバル（縦割り班活動）や就学時健康診断といった行事では、下級生や未就学児に優しい言葉で話しかけたり、相手の言葉に耳を傾けて行動したりすることができ、自分が上級生となる立場では、思いやりのある親切な行動を自然ととることができている。

学級の児童の現状を踏まえ、自分たちがかわりをもつ相手には誰に対しても損得などの利害を超えて、相手の心を共感的に理解し、何を欲しているのかを判断できる思いやりの心を持ち、親切な行動がとれるようになってもらいたいと願っている。また、相手を深い感謝の心情に浸らせることは、時として勇気付け、生き方に光を与えることもあるということも感じさせたい。

（3）教材観

有名な劇団の俳優になることを夢見る主人公のロベータは貧しく養成所に通うことができない。養成所の守衛のジョルジュじいさんが秘密で月謝代を送り続けてくれるおかげでロベータは養成所に通うことができる。しかし、あるときから月謝が届かなくなる。ロベータはそのことを恨みに思う。後に、ジョルジュじいさんが体を壊しながらも月謝代を工面してくれていたことを知り、ロベータは、ジョルジュじいさんの看病を名乗り出る。そして、ジョルジュじいさんが息を引き取る間際、お金を送り続けた理由を知る。ロベータは、ジョルジュじいさんの思いを知り、自分の将来に向けて気持ちを新たにす。

本教材は、登場人物の二人がお互いを思いやる心情や行動から思いやりとは何かを深く考えさせられる教材である。児童に自分とのかかわりで思いやりの心や親切にすることの大切さを理解させ、親切な行動をとるために大切なことは何かということに気付かせるために、中心発問で、ロベータが、ジョルジュじいさんの「最後のおくり物」を受け取って感じたことについて考えさせる。思いやり溢れる行動が深い感謝につながることを感じさせるとともに、勇気を与えたり生き方の支えになったりすることにもつながることにも気付かせたい。中心発問につなげるために、第1・2発問では、ジョルジュじいさんがロベータになぜお金を渡していたのかを考えさせ、ジョルジュじいさんの思いやりの心の深さや行動に込められた思いを導き出す。

4 ブロック分科会の取組

（1）指導案作成において話題になったこと

- ・教材文の提示の仕方
- ・「対話的な学び」の手法について
- ・中心発問について

（2）指導案作成までの取組

- 10月16日 学年で内容項目、教材について検討
- 10月24日 第1回指導案検討会（高学年ブロック）教材文の内容や全体の流れについて検討
- 11月 6日 第2回指導案検討会（高学年ブロック）
- 11月 9日 第3回指導案検討会（高学年ブロック）

5 研究主題に迫るための手立て

	主体的な学びを導くために (他人事ではなく、自分自身 のこととして考えるために)	対話的学びを導くために (友達を考えから共通点や 相違点を発見するために)	深い学びを導くために (自分の考えをより深めたり、 改めたりするために)
発問の工夫	<p><教材文の理解> あらすじを指導者が押さえる ことで、発問に対して児童が考 える時間を確保する。</p> <p><教材文の提示> 教材文を前後半に分け、提示す ることで、自我関与を働きか け、教材と対話させる。</p>	<p><教師との対話> 内容への問いかけを行うこ とで、児童の発表を整理、 統合したり、別の表現に言 い換えさせたりしてねらい にせまる。</p>	<p><補助発問> 児童の発表に対し適宜、補助 発問を行うことでねらいとす る道徳的価値に迫るととも に、より深い考えを表出させ る。</p>
学習形態の工夫		<p><他者との意見交換> 登場人物の心情を発表させ ることで、様々な考え方があ ることに気付かせる。</p>	
児童の意識把握 のための工夫	<p><事前アンケート調査> アンケート結果から、児童の意 識を把握する。</p> <p><日頃の児童観察> 児童の周りの友達とのかかわ り方を観察し、行動面での課 題を把握する。</p>		
評価のための工 夫			<p><ワークシート> 自己を見つめ、学習問題に対 して自分との関わりで考える ことができたかを評価する。</p>

6 学習指導過程

過程	時間	学習活動（○発問 ◎中心発問 ・予想される反応）	◇指導上の留意点 ◆評価（方法）
導入	5分	1 「思いやり」「親切」とは何かを発表する。	◇アンケートの結果を提示するとともに、今までの経験と関連させてどのように捉えているのかを引き出す。
展開 (前段)	25分	2 教材「最後のおくり物」を読んで話し合う。 ○ジョルジュじいさんはどんな思いでロベーナにお金を渡していたのだろう。 <前半部分> ・ロベーナの夢を応援したい。 ・ロベーナに頑張ってもらいたい。 ・かわいそう。 <後半部分> ・自分の分も頑張ってもらいたい。 ・ロベーナを応援することが自分の幸せ。 ・ロベーナの初舞台を見たい。 ◎ロベーナは、ジョルジュじいさんから「最後のおくり物」を受け取ってどんなことを思っただろう。 ・体を壊しても自分のためにお金を用意してくれてありがとう。 ・必ず俳優になって、ジョルジュじいさんに恩返しをしよう。 ・ジョルジュじいさんの思いにこたえよう。 ・ジョルジュじいさんの分も頑張ろう。	◇教材文の前半部分を配り、範読する ◇ポイントとなるあらすじは指導者が押さえ、発問につなげる。 ◇児童の発言から相手の立場を考えた行動というポイントを押さえる。 ◇教材文の後半部分を配り、範読する。 ◇範読後に再び同じ発問を行い、前半部分では分からなかったジョルジュじいさんの思いを引き出す。 ◇ジョルジュじいさんの思いやりや親切が感謝のみならずロベーナに勇気を与えたり、生き方の支えになったりしていることも押さえる。
展開 (後段)	10分	3 自分の生活について考える。 ○あなたが考える「思いやり」「親切」とはどういうものだろう。 ・相手に対しての優しさ。 ・相手が喜ぶことをすること。 ・困っている人を助けること。 ・相手の立場を考えた行動。 ・相手も自分も幸せになること。 ○これまでの自分を振り返り、これから自分は周りの人とどうかかわりながら生活していこうと思いますか。	◇導入での発問との児童からの発言の違いがあれば押さえる。 ◇今後の周りの人とのかかわり方は、具体的な場面を想起させて記入させる。 ◆相手の立場を考えた思いやりのある行動をとろうと考えていたか。（ワークシート）
終末	5分	4 教師の説話を聞く。	◇「学級の児童からもらった思いやり」について話し、思いやりの温かさや親切な行動が心の支えとなっていることを伝える。

7 板書計画

最後のおくり物
「思いやり、親切」

- やさしい気持ち
- 相手が喜ぶ行動
- 相手のことを考えた行動

↓

- 相手のことを理解して
- やさしい行動をとること
- 自分も相手も幸せになる

お金がなくてかわいそう
ロベ-又を応援したい
ロベ-又に頑張ってもらいたい
俳優になってもういたい

なんで? →

ロベ-又が努力しているから
強い思いを知っているから

理解

（養成所に通うため）

体をこわす ジョルジュじいさん → お金 → ロベ-又

- 自分の方も頑張ってもらいたい
- 応援することが幸せ
- 初舞台を見たい
- 努力が実ってほしい

- ありがとう ⇒ 感謝
- ジョルジュじいさんの分も頑張ろう
- ジョルジュじいさんの思いにこたえよう ⇒ 決意
- 俳優になってもう返しよう